

豊中人権まちづくりセンター

資料室ニュース

2017年8月号

編集：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会

〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7

電話：06-6841-5300 fax：06-6841-6655



新着図書案内 (2017年6月～7月)

	<p>「あなたと私とヘイトスピーチと」</p> <p>高校の同窓会に向かう琢也は、かつての同級生さとみと久しぶりに再会する。すると、会場に向かう街中では嫌韓デモが行われていて…！読みやすい漫画です。原作：深沢潮 作画：今川小豆 監修：TRAI、のりこえねっと 32頁</p>		<p>「キリンの子 鳥居歌集」</p> <p>目の前での母の自死、児童養護施設での虐待、小学校中退、ホームレス生活。拾った新聞で字を覚え、短歌に出会って人生に「孤独な仲間の姿」を見いだせたという、天涯孤独のセーラー服歌人・鳥居の初歌集。著：鳥居 角川書店 166頁</p>
	<p>「謀叛の児 宮崎滔天の『世界革命』」</p> <p>『九月、東京の路上で』が反響を呼んだ新鋭による初の本格的評伝。大陸浪人として括られてきた宮崎滔天の波乱の軌跡</p>		<p>「女子と貧困 乗り越え、助け合うために」</p> <p>原発事故母子避難、シングルマザー、キャバ嬢、育児ハラスメント、進学めざす生活保護の女性…</p>
<p>を世界革命への志において全く新しく甦らせ、アジアと近代を問いなおす力篇。著：加藤直樹 河出書房新社 359頁</p>	<p>くらしとたたかいの現場から。全編取材・書き下ろし。著：雨宮処凛 かもがわ出版 167頁</p>		

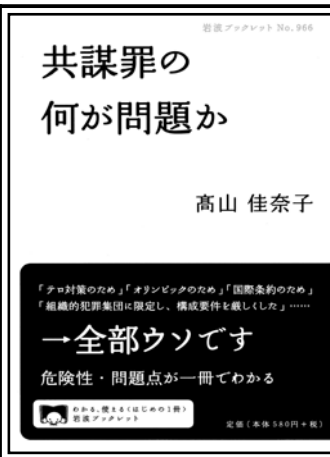


「沖縄の新聞は本当に『偏向』しているのか」

インターネットを中心に批判されることの多い沖縄の新聞報道。しかし、沖縄の新聞が伝える情報は、本当に「偏向」しているのか。

現場を取材する琉球新報、沖縄タイムスの記者を実際に訪ね、直接話を聞き、沖縄の新聞が生まれた歴史的背景、その報道姿勢を探る。

著：安田浩一 朝日新聞出版 302頁



「共謀罪の何が問題か」

犯罪を計画段階で処罰する「共謀罪」。危険性を指摘され、国会で三度廃案になった法案が装いを変え、「テロ等準備罪」の呼び名で新設されようとしている。

しかし、この立法は犯罪対策にとって不要であるばかりでなく、市民生活に重大な制約をもたらすものだ。第一線で活躍する刑事法の研究者が数々の問題点・矛盾点を指摘する。著：高山佳奈子 岩波書店 71頁



「後藤さんを救えなかったか」

あの殺害予告動画がネットにアップされたとき、「イスラム国」の幹部は、「後藤は殺したくない」と言っていました。「イスラム国」は後藤さんの奥さんにメールを送りつけて「20億円で後藤を解放する」と交渉を迫りました。しかし日本政府は身代金の支払いにも、交渉のテーブルにもつきませんでした。安倍首相はなぜ「イスラム国」を挑発するような演説を行っていたのか？人質解放のための対策本部をヨルダンに置いたのはなぜなのか？著：西谷文和 第三書館 64頁

安倍首相の言動が「それ」に直結した



「米騒動とジャーナリズム 大正の米騒動から百年」

全国に吹き荒れた、住民運動の先駆けである「富山の米騒動」から2018年

で100年。詳細な資料を元に富山県が発火点となった米騒動を大正から更に遡り、明治の米騒動も含め明らかにする。

著：金澤敏子・向井嘉之・阿部不二子・瀬谷寛 梧桐書院 407頁

- 資料室の利用方法
- 図書の貸出は1回につき原則3週間、5冊までです。期限は厳守してください。
- 貸出カードに名前、住所をご記入ください。電話、FAX、メールでも受け付けています。連絡便での貸出・返却が可能です。貸出中の場合はご了承ください。
- Tel : 6841-1313 FAX : 6841-1310 mail:toyojinken@city.toyonaka.osaka.jp